

JA長崎県青協
ポリシーブック

2015



長崎県農協青年部協議会

J A 青年組織綱領

我々JA青年組織は、日本農業の担い手としてJAをよりどころに地域農業の振興を図り、JA運動の先駆者として実践する自主的な組織である。

さらに、世界的視野から時代を的確に捉え、誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、国民と豊かな食と環境の共有をめざすものである。

このため、JA青年組織の責務として、社会的・政治的自覚を高め、全国盟友の英知と行動力を結集し、次のことに取り組む。

一、われらは、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域社会に貢献する。

J A 青年組織は、農業の担い手として地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて地域社会において環境・文化・教育の活動を行い、地域に根ざした社会貢献に取り組む。

一、われらは、国民との相互理解を図り、食と農の価値を高める責任ある政策提言を行う。

人間の「いのちと暮らし」の源である食と農の持つ価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて、農業者の視点と生活者の視点を合わせ持った責任ある政策提言を行う。

一、われらは、自らがJAの事業運営に積極的に参画し、JA運動の先頭に立つ。

時代を捉え、将来を見据えたJ Aの発展のため、自らの組織であるJ Aの事業運営に主体的に参加するとともに、青年農業者の立場から常に新しいJ A運動を探求し、実践する。

一、われらは、多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める。

J A 青年組織のネットワークを通じて営農技術の向上を進めるとともに、仲間との交流によって自らの新たな可能性を発見する場をつくり、相互研鑽を図る。

一、われらは、組織活動の実践により盟友の結束力を高め、あすの担い手を育成する。

J A 青年組織の活動に参加することによって、個人では得られない達成感や感動を多くの盟友が実感できる機会をつくり、このような価値を次代に継承する人材を育成する。

(注釈)本綱領は、JA全青協設立の経過を踏まえて「鬼怒川5原則」「全国青年統一綱領」の理念を受け継ぎ、創立 50 周年を契機に現代的な表現に改めるとともに、今後目指すべきJA 青年組織の方向性を新たに盛り込んだものである(平成 17 年3月 10 日制定)。

J A 長崎県青協の行動指針

以下の 3 つを行動指針として課題解決に取り組む

I. 次世代の J A リーダー育成

II. 青年部盟友の幸せ作り

Ⅲ. 地域農業の振興

Ⅰ. 次世代の J A リーダー育成

次世代の J A リーダーを育成に向け、以下の課題に取り組む。

課題

1. 組織リーダーについて学習する
2. J A 運営へ参加・参画する
3. J A ・農業情勢を学習する

解決策

①個人・ J A 青（壮）年部としての取り組み

1. 組織リーダーについて学習する

- ・ 県青協の開催する大会や、九青協・全青協が開催する研修会への参加
- ・ 後輩盟友に対する青年部活動の意義教育
- ・ 組織体制の整備（青年部内で作業部会等を立ち上げ、業務遂行の機会を創出する）

2. J A 運営へ参加・参画する

- ・ J A に対する総代選定方法の改訂提案（若手農業者が総代になりやすいよう要望）
- ・ J A に対する青年部理事枠の設置・拡大要望
- ・ J A に対する青年部としての意見・要望提案（事前に青年部内部で協議の上）

② J Aと一体となった取り組み

1. 組織リーダーについて学習する

- ・ J A 役職員が参加した学習活動実施
- ・ J A 役職員全員と青年部盟友全員に対する青年部活動の意義・意識の浸透活動実施

2. J A 運営へ参加・参画する

- ・ J A 役職員と青年部との定期的な情報交換会実施
- ・ 支店（支所）と青年部一体となった企画・催事への参加

3. J A ・ 農業情勢を学習する

③行政に提案・要望する事

1. 組織リーダーについて学習する

- ・ 行政主催による団体枠を越えたリーダー育成研修会の開催及び参加費助成

2. J A 運営へ参加・参画する

特になし。

3. J A ・ 農業情勢を学習する

II. 青年部盟友の幸せ作り

青年部盟友を幸せにする為に、以下の課題に取り組む。

課 題

1. 青年部盟友の所得を上げる
2. 青年農業者の仲間を増やす
3. 高品質の農畜産物を作る

解決策

①個人・JA青（壮）年部としての取り組み

1. 青年部盟友の所得を上げる, 2. 青年農業者の仲間を増やす

- ・経営管理に関する研修会の実施(若手農業者にコスト削減、年間計画策定等を習慣づける為)
- ・青年部内で専門分野に分かれた技術的な研修実施（例：水田部会、畜産部会等）
- ・専門的な講師を呼んだ青色申告に関する勉強会実施（自身の経営状況及び改善可能な事を見つけられるようになる為）
- ・パソコンに関する学習会実施（経営管理をする上で Excel・Word 等の知識が必要な為）

3. 高品質の農畜産物を作る

- ・経営管理に関する研修会の実施(若手農業者にコスト削減、年間計画策定等を習慣付け

②JAと一体となった取り組み

1. 青年部盟友の所得を上げる, 2. 青年農業者の仲間を増やす

- ・市場や消費者に対するPR強化（CM等）
- ・新規販売チャネルの開拓
- ・栽培技術指導体制強化
- ・婚活活動の実施

3. 高品質の農畜産物を作る

③行政に提案・要望する事

1. 青年部盟友の所得を上げる, 2. 青年農業者の仲間を増やす,

3. 高品質の農畜産物を作る

III. 地域農業の振興

地域農業の持続的発展を実現する為に、以下の課題に取り組む。

課題

1. 農業の理解促進を図る
2. 地域貢献活動を実施する
3. 情報伝達機能を充実・強化する

解決策

①個人・JA青（壮）年部としての取り組み

1. 農業の理解促進を図る

- ・世代別の食農教育活動実施
- ・一連の農作業体験が出来る食農教育活動実施
- ・1分間動画および農業PR看板を活用した農業の理解促進

2. 地域貢献活動を実施する

- ・地域行事への参加・参画

②JAと一体となった取り組み

1. 農業の理解促進を図る

- ・JAと一体となった食農教育活動実施

2. 地域貢献活動を実施する

- ・耕作放棄地解消

③行政に提案・要望する事

1. 農業の理解促進を図る

- ・本県農業の広報強化

2. 地域貢献活動を実施する

- ・耕作放棄地解消取り組みに対する費用助成
- ・農地中間管理事業の周知徹底

以 上